

# 「第3期枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」 についてのパブリックコメント（結果公表）

「第3期枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」のパブリックコメントにつきまして、市民の皆さまからご意見をいただき、ありがとうございました。お寄せいただきましたご意見と、ご意見に対する本市の考え方を以下のとおり公表します。

意見募集期間	令和6年2月16（金）から 令和6年3月8（金）
意見提出者数	17人（提出意見:37件）
公表意見数	17件（うち、反映した意見:0件）

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
1	<b>全体</b> ・総合戦略については、支援教育充実審議会で現在議論されている内容も反映していけるよう、4年ごとの見直しではなく、必要に応じて中身を更新されるべきだと思う。 ・具体的な事業計画、実施計画が欠如している。3か年の短期計画だから、もっと実施計画の要素が必要。	第3期総合戦略は、計画期間を令和6年度から令和9年度までの4年間としています。また、第3期総合戦略の具体的な施策は、第3期実行計画との整合を図っており、具体的な事業計画、実施計画としては、第3期実行計画が該当します。 総合戦略の令和6年度から9年度における基本目標を達成するための取り組みの詳細は、令和5年度末に策定する第3期実行計画に位置付けており、当該実行計画は毎年度更新します。
2	<b>地域ビジョン</b> 目指すべき将来像は、「人口減少が進む中においても、持続可能な発展により、誰もが幸せを実感できるまち」としていますが、この「誰もが」は、	総合戦略は、すべての市民を対象に、満足度を高めるための取り組みを推進していくこととしています。 また、第3期総合戦略の「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
	<p>全ての市民が、と受け止められる。とすれば、低所得者、年金生活者の方々、不安定雇用に苦しんでいる方々、身体が不自由で移動できにくい方々、高齢化して孤独な生活をしている方々にどう具体的に取組まれるのか、説明をお願いします。誰もに手を差しのべるゆとりをもった行政を行ってください。</p>	<p>挙するのではなく、令和6年度以降新規に追加、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを抜粋し、記載しています。</p>
3	<p><b>重要目標達成指標 (KGI)</b> 生活満足度は、全国平均との比較ではなく、規模が類似する団体と比較した方が良い。</p>	<p>指標とする生活満足度(well-being)については、本市では、令和4年度から国と同様の調査内容により、実施しており、全国平均との比較をお示ししています。生活満足度の調査は、地方自治体によって実施の有無があり、実施している場合の調査内容も統一されていない状況です。 ご意見いただきました類似団体や中核市との比較の必要性については、今後、実績を分析する上で、判断していきたいと考えています。</p>
4	<p><b>基本目標 1</b> <b>2. 子どもたちが健やかに育つことができるまち</b> 24 ページの「(3)障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。」について、指標が利用者数であることに違和感がある。数字で示すのであれば、3歳児以上がどこかと繋がりがああるかの達成率や、満足度を指標にしてはどうか。</p>	<p>ご意見の(3)の指標は、「障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。」という基本的方向の業績評価として、サービスを利用したい方が利用できる状況にあるかという観点で、実利用者数を指標に設定しているものです。 また、「(1)子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、疾病等の予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。」では、「この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合」を重要行政評価指標 (KPI) としており、施策目標である「2. 子ど</p>

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
		<p>もたちが健やかに育つことができるまち」への達成度は、(1)～(7)の重要業績評価指標(KPI)の実績を総合的に観察していきます。</p>
5	<p><b>基本目標1</b>  <b>2. 子どもたちが健やかに育つことができるまち</b>  24 ページの「(4)子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。」について、具体的な取り組みの追加案として、「子育てを一人で抱え込まないようにする対策を強化。」  内容としては、他県で実施されている「第一子が5ヶ月頃～1才の誕生日月まで、隔週でその地域の保護者が集まってひたすらおしゃべりする」というもの。保健センターからの案内は申込制で、保護者が20人くらいで、「今日は誕生日月でグループになってしゃべります。」など毎回違う分け方で仕切ってくれる市の担当者が2人いた。そこで地域や育児の情報が聞くことができ、実際に仲良くなって1才の卒業以降にも繋がりが持てた。第一子を少しでも充実して乗り越えられたら、2人目も欲しいという気持ちになりやすいと思う。</p>	<p>基本的方向に紐づく「具体的な取り組み」については、取り組み名称として、可能な限りその実施内容がわかるような表記にしています。  追加案としていただいた「子育てを一人で抱え込まないようにする対策を強化」の具体的な取り組みとして、「地域子育て支援拠点（おやこの広場）の増設」、「地域子育て相談機関の設置」を掲げているものです。  なお、子育てを一人で抱え込まないようにする対策のさらなる強化は必要であり、ご意見の手法による取り組みは、所管部署と共有を図り、今後の施策に活かしていきます。</p>
6	<p><b>基本目標1</b>  <b>3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</b>  26 ページ以降、「学力向上」ばかりが並んでいますが、その窮屈さが、</p>	<p>第3期総合戦略の「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和6～9年度の計画期間中の新規、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要とな</p>

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
	<p>勉強が追いつけずに支援学級に在籍する子や不登校が増えた原因の一つではないかと考える。子どもや先生がいきいき学べる環境をつくり、どうしても数字に出したいなら環境充実度や満足度がいいと思う。</p>	<p>る取り組みを掲載しています。K P Iについても同様です。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関係部署に共有し、今後の施策に活かしていきます。</p>
7	<p><b>基本目標 1</b></p> <p><b>3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</b></p> <p>英語によるコミュニケーション力の向上を目指しているが、それ以前に、日本語での日常的なコミュニケーション力の向上が必要。コミュニケーション、対話により他者への相互理解や社会性が育まれ、住民満足度につながる。また、論理的思考、特に因果関係やエビデンスについての理解が必要。</p>	<p>基本目標 1 「3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち」では、(1)義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ることとしています。</p> <p>そのための「具体的な取り組み」として、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和6～9年度の計画期間中の新規、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを掲載しています。</p> <p>日本語での日常的なコミュニケーション力の向上、論理的思考、特に因果関係やエビデンスについての理解は、必要であると認識しており、いただいたご意見を所管部署と共有し、今後の施策に活かしていきます。</p>
8	<p><b>基本目標 1</b></p> <p><b>3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</b></p> <p>(7) 支援教育の充実の具体的な取り組みが「全小中学校での通級指導教室設置に向けた取り組み」、K P Iも「小中学校における通級指導教室</p>	<p>第3期総合戦略の「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和6～9年度の計画期間中の新規、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを掲載しています。K P Iについても同様です。</p>

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
	設置数」だが、それだけでは不十分ではないか。	なお、令和6～9年度における基本目標を達成するための取り組みの詳細は、令和5年度末に策定する第3期実行計画に位置付けています。
9	<b>基本目標1</b> <b>3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</b> 30 ページ(7)障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。について、支援教育の充実が、「通級指導教室の数が増えたら充実」のみになっているが、他がおろそかになっている結果的に充実できません。	第3期総合戦略の「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和6年度以降新規に追加、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを抜粋し、記載しています。いただいたご意見を所管部署と共有し、今後の施策に活かしていきます。
10	<b>基本目標1</b> <b>3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</b> 通級指導教室を増やす目標の指標より、教員不足で実施困難になっている「ダブルカウントの実施率」を目標100%でお願いしたい。	第3期総合戦略の「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和6～9年度の計画期間中の新規、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを掲載しています。KPIについても同様です。 いただいたご意見につきましては、関係部署と共有させていただきます。
11	<b>基本目標1</b> <b>3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</b> 全小中学校での通級指導教室設置に向けた取り組み ↑上記結論付けていますが、昨年度の騒動を経て支援教育審議会が設置されたのであって、支援教育の充実＝通級指導教室の設置とは全く決定していない中で、市民のニーズに反	第3期総合戦略の「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和6年度以降新規に追加、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを抜粋し、記載しています。いただいたご意見を所管部署と共有し、今後の施策に活かしていきます。

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
	<p>して進めるのは「支援教育の充実」でも何でもないと思う。また支援教育こそICTを活用したりリタリコとの連携に力を注ぐと昨年度豪語していたあの具体的な内容は一体どこへ行ってしまったのか。</p>	
12	<p><b>基本目標 2</b>  <b>1. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち</b>  <b>基本目標 3</b>  <b>4. 快適で暮らしやすい環境をそなえたまち</b></p> <p>この二つのテーマについて、その改善にとって大事なことは、「移動」。お出かけしたい（気分転換、コミュニケーションなど）、お出かけせざるを得ない（買い物、医療）時に、お金の心配なく、移動手段が確保できることが大事。お出かけすれば、元気になり、まちに賑わいも出てくる。高齢者は免許証の返還が迫っている。しかし、「返還すれば家から出られない。足がなくなる」の声があちこちである。枚方市では、そのことが市の仕事のテーマにはなっていないよう。寝屋川市との大きな違いを感じる。誰もが「移動しやすいまち」を目指す枚方市にしてください。</p>	<p>基本目標、基本施策のテーマは、第5次枚方市総合計画の基本目標、基本計画の施策目標の名称となっています。</p> <p>また、施策目標と基本的方向に紐づく「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和6～9年度の計画期間中の新規、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを掲載しています。</p> <p>移動に関する取り組みについては、ご意見の2つの基本目標と施策目標に紐づくもので、いただいたご意見を所管部署と共有し、今後の施策に活かしていきます。</p>
13	<p><b>基本目標 2</b>  <b>2. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち</b></p> <p>心の病気の早期発見について、令和6～9年にかけて徐々に相談の目標件数を減らしていく様に見られるが、逆だと思う。日本人は独りで抱</p>	<p>本市では、市民のメンタルヘルス維持に関する施策を総合的に進めることで、こころの不調を訴える人を減らし、こころの健康相談の相談件数を減少させることを目標としています。もともと、ご意見のとおり、相談しやすい環境を整えることは重要</p>

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
	え込みやすく、人に頼る事ができにくい国民性だと思うので、相談しやすくして相談件数を増やして欲しい。	と考えており、今後も広くこころの健康相談をお受けしていきます。
14	<b>基本目標 3</b> 「生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている」人が 27.5%と約 4 人に 1 人の割合を増やして欲しい。一方向の講習や一斉講義などでなく、双方向の、そして互いに教え合う相互学習が有効だと思う。幸福度の高い北欧では「スタディサークル」が盛んだ。	基本目標ごとの主観的成果指標については、具体的な取り組みを推進することにより、策定時の値から毎年度向上させることを目指すものです。 いただいたご意見を踏まえ、左記主観的成果指標の向上に向け、取り組んでいきます。
15	<b>基本目標 3</b> <b>5. 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち</b> ・「スマートシティを見据えたデジタル技術等の導入」については、デジタルが万能薬のような捉え方をされているようで、大きな不安感を感じる。 ・「枚方市駅周辺の再整備」「スマートシティを見据えたデジタル技術等の導入」が枚方市を再生するような、市の捉え方、雰囲気を感じる。	第 3 期総合戦略の「具体的な取り組み」は、全ての取り組みを列挙するのではなく、令和 6～9 年度の計画期間中の新規、拡充する取り組みと、各取り組みの方向において重要となる取り組みを掲載しています。 「スマートシティを見据えたデジタル技術等の導入」は、人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまちの実現に向けた取り組みの 1 つであり、枚方市駅に直結する複合施設に設置する枚方市駅市民窓口センターでの行政サービスやニッパーク岡東中央における市民団体などが実施する各種イベントへの支援のほか、様々な取り組みを推進していきます。 いただいたご意見を所管部署と共有し、今後の施策に活かしていきます。
16	<b>基本目標 3</b> <b>5. 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち</b>	いただいたご意見を所管部署と共有し、今後の施策に活かしていきます。

No.	ご意見の要旨	枚方市の考え方
	<p>岡東中央公園での市民団体などが開催するイベントへの支援が挙げられており、良いと思う。「オガール」(紫波町)のように、公共的に人が集まれる「場所」を有効活用(直接の利益目的・売買目的でない)でき、ただ人が通るだけでなく「交流」が生まれれば、周辺の飲食店も潤うし、人が出かけてくれば物販も潤うと思う。それは、茨木市の「おにクル」が開館3ヶ月で50万人の来場者を達成したことでも示されている。</p>	
17	<p><b>その他</b>            全体的に、目標についての文言は良いと思う。それに対して、ぜひ十分な予算を付けて欲しい。</p>	<p>総合戦略に基づき、着実に事業を推進していきます。</p>

※その他、「教職員の仕事量の縮小」「教職員の増員」「公共交通の充実」「生涯学習市民センターの利便性向上」など、具体的施策の実施に関する要望的意見が20件ありました。こうした意見につきましては、担当部署との共有を行うとともに、今後の施策推進に活かしていきます。